

小学生が箕面の森を探検！

～森の中で、森について調べ！下級生へ伝えた！～

「森の不思議」を学ぶ

平成 28 年 10 月 2 1 日、箕面市立豊川北小学校の 4 年生 76 名が、箕面国有林「エキスポ’ 90 米のお記念の森」で、箕面森林ふれあい推進センターのプログラム「森の探検隊」を体験しました。

「森の探検隊」は、「エキスポ’ 90 米のお記念の森」内に設定された 30 箇所あまりの探検ポイントから、あらかじめ参加者に選択してもらった 5 ポイントを巡り、各ポイントに設置された「指令書」の謎かけを解いていくことで、楽しみながら森の不思議等を学べるよう工夫されたプログラムです。事前に、児童たちは、「探検ポイント名」（例えば「耳をすませば」）、ポイントの概要などを確認し、まわるポイントを選択し、記録係やカメラ係など役割分担を決めておくなど準備をして臨みます。また、大阪森林インストラクター会の協力により、引率役として会員 8 名にお手伝いをいただきました。

児童たちは元気いっぱい、ポイントでは「指令書」により森や自然について調べました。森の多様性や効能、楽しさなどを感じてもらえたのではないかと思います。

森と川とのつながりを学ぶ

午後は場所を箕面ビジターセンターに移し、NPO 法人みのお山麓保全委員会のメンバーの指導により、「水辺の生き物調査」、「森の自然工作」、「ビジターセンター展示物見学」を行いました。「水辺の生き物調査」では、箕面川から採取したトンボの幼虫など昆虫類や小動物を観察し、森と川のごつながりを学びました。ビジターセンター見学では、箕面の森の豊かさを実感してもらえました。



「この葉っぱ良い香りがするね！」



「オオクワガタはいるかな？」



「川の生き物！ハイ～！」

森で調べたことを下級生へ伝えてくれました！

～「森の探検隊」報告会～

11月22日には豊川北小学校で子どもたちによる体験報告会が行われました。子供たちは、模造紙を使って大きな新聞を作成し、自分たちが調べた森について、3年生に伝えました。

森の中で、自分たちで調べ、みんなで工夫して下級生へ伝えるという行動によって、学びは深化しました。

これからも子供たちが山を楽しみ森に関心を持って学べるプログラムになるよう改良につとめていきたいと考えています。



3年生の児童へ学んだことを伝える